

INTERVIEW WITH YOU

あなたにインタビュー

BrightEyes

瞳を輝かせて

輝

柔道を通して、世界をまたにかけた活躍

第5回世界マスターズ柔道大会優勝

水野 博介さん（三好上）



▶▶▶プロフィール

みずの・ひろゆき 昭和32年生まれの45歳。筑波大学卒。東海高校教諭。愛知県柔道連盟少年競技者育成委員長。強化副委員長。講道館柔道7段。全日本柔道連盟審判Aライセンスを持つ。

「天」 会まで半年間、今の自分にあつた練習ができ、充実した期間を過ごすことができ、試合に立てたことで満足していましたが、大会も優勝することができて、二重の喜びです」と話すのは、6月23日から28日まで東京の講道館で開催された第5回世界マスターズ柔道大会の45歳から49歳までの90キロ級で優勝した水野博介さんです。

さんは、38歳まで国民体育大会や全国教員柔道大会など多くの大会で、優秀な成績を収めてきました。今大会は約7年ぶりの実戦の場。90キロ級には、13人が出場しました。1回戦と2回戦は、オランダとロシアの選手と対戦。得意の背負い投げで勝利し、準決勝と決勝は、日本人選手と対戦。決勝でも背負い投げで技ありを取り、その後横四方固で抑え込み優勝を決めました。「久しぶりに試合を楽しめました。指導者となってからは、相手に技を出させる練習ばかりで、いざ自分のために、好きな背負い投げを意識して、打ち込み練習などをしたので、体力的にもきつかったです。しかしこんなに試合で決まるとは」と振り返ります。

柔道を通じた国際経験が豊富な水野さん。1986年と1988年に全日本柔道連盟からインドへ、1991年に愛知県柔道連盟からカナダへ指導者として派遣された経験があります。「海外へ指導に行ったときは、言葉が通じなくても、けいこでぶつかり合うことで、心が通じ、互いに理解し合えるんだと感じました。現在約180カ国に普及している柔道は、国際交流のきっかけとなる、素晴らしい日本の伝統文化だと思います」と話します。現在も海外の選手や監督と親交が深く、育成する選手の相互交流などが続いているそうです。

父が道場を開いていたことがきっかけで、8歳のときに柔道を始めました水野さん。それから37年間、柔道への情熱はますます衰えることを知りません。「この大会で、65歳以上の選手が4人もいました。わたしもその人たちを目標に、まず次回の大会に出場することを目指し、その先も柔道とかかわっていきたく思います」と瞳を輝かせます。

これからも、柔道を通して、世界をまたにかけた活躍を期待しています。

あなたの夏の過ごし方は



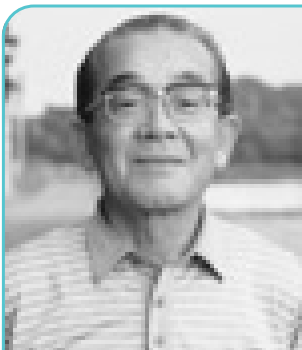
錦見 好香さん
(北中学校1年生・三好丘)

夏休みの課題に、二学期に行われる英文語コンテストのノート学習があるので、その勉強を生かして高得点を狙いたいと思います。そして、ほかの課題もなるべく早く終わらせて、友達と買い物などに掛けたいですね。いいじゃんまつりや地域のお祭りに行くのも楽しみの一つです。



田中 啓太さん
(三好丘旭)

現在、国立大学を目指して予備校に通っています。もうすぐ夏期講習も始まり、受験生にとって大切な時期なので、一日一日を大切に過ごしたいですね。わたしは、数学が苦手なので、この夏に重点的に取り組んで、得意科目にしたいです。勉強の息抜きとしては、犬と遊んで過ごしています。



原田 進さん
(三好上)

万歩計を着けて、毎日1万歩を目標にウォーキングしています。暑くても歩いて汗をかき、しっかりと水分を取ることで健康を保っていきたくですね。また自宅では、スイカやトマトなど夏の野菜を作っています。それらをよく食べることで、栄養のバランスをうまくとるようにしています。

次回9月1日号のテーマは「交通マナーについて」
広報情報課が皆さんのところへ突撃インタビューに伺いますので、ご協力ください。また郵便や電子メールによる「声」もお待ちしています。(8月7日(木)締め切り)

みよしの文芸

俳句

竹下 乙茶
蕙風に癒し求めて吾も古希
堀越 鋼蔵
老いて尚心は永遠に風薫る
原田 朱子
草取りの草に染まりし手の指紋
足立 梅光
背負孤の己が蔭にて草取女

短歌

鈴木 早苗
馬鈴薯のやさし花茎持ち上げ振り出す薯の瑞端として
鈴木 タカ子
生かされて差し来る朝陽に焦点を待合室に新聞を見む
西山 邦子
白衣着け黒衣まとい姿見に立つ吾女をみる胸熱くなり

狂俳

原田 里秋
水葵
田舟の棹が分けて行く
道端
鹽並べて金魚売る
小出 桃源
研ぐ枝
命吹き込む火を入れる
塚本 湖村